

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマの効果が大きく、ゴールデンウィークは街中に人があふれ、飲食店はどこも長い行列ができていた。	
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・オープンしてから最大の葬儀依頼件数である。口コミなどで安くて良い葬儀をしてもらえると評判を得て、問い合わせも増えている。	
	やや良く なっている	スーパー（経営者）	単価の動き		・1点単価が上昇している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き		・大河ドラマの関連都市ということで、来客数は増加しているが、買上はあまり多くない。暑さで清涼飲料やアイスクリーム等の売上は増加しているが、まだ本格的な夏というほどではなく、何となく中途半端な感じである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き		・ゴールデンウィーク中の客の動きは良く、特に県外客の入りが良い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き		・ゴールデンウィークの客数はやや少ない印象であったが、連休後の来客数の落ち込みは少なく、前年同期を超えている。客単価はやや低下し、全体として売上は前年並みである。週末の天気が良く、行楽客も増えている。
		スナック（経営者）	来客数の動き		・山菜料理などで客が増える時期で、暖冬の影響で平年より早くシーズンが始まっているという事情はあるものの、客の足が良く、客単価も悪くない状況が続いている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き		・4～5月にかけて、インバウンドが好調である。
		観光名所（職員）	販売量の動き		・土産物と飲食の売上が好調である。現在は日本人より外国人観光客が圧倒的に多く、以前と比べ、買物や食事もしていくようになってきている。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き		・長いゴールデンウィークであったが、企画コンペで集客し、地元客が多く来場した。天候も幸いし、順調に予約を伸ばしている。
		設計事務所（所長）	来客数の動き		・3か月前と比べ来客数が増加し、成約率も高く、予算を達成できている。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子		・新緑の季節になり、外出機会が増えている。観光地にはぎやかになっているが、地元は相変わらずの状態、街中が元気になるような材料が見当たらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子		・相変わらず商品の動きは良くない。古くて修理対応ができないと買換えの話にもなるが、壊れたからと早々に買換えはせず、使用していた物と同等以上の物にはならないので、売上増は厳しい。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き		・「衣食住」のうち食と住は堅調だが、主力の衣料品が相変わらず不振である。3か月前と比べても変わらない傾向である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き		・来客数は変わらないが、単価が下がっており、店計での売上額も前年を下回っている。食品は良いが、衣料品と住まいの品は非常に厳しい。客の買物が必要最小限のものばかりで、余計なものは買わなくなっている。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き		・イベントやチラシを入れた時の集客は伸び、平常時の集客で苦戦している。トータルでは大きな変動はなく、若干の客単価上昇で補っている。
		スーパー（副店長）	お客様の様子		・熊本地震や、来年の消費税の引上げの話など、明るい話題が少なく、客の買い方にも節約傾向を感じる。
		コンビニ（店長）	お客様の様子		・キャンペーンをやればその分は若干伸びるが、それがなければ特別大きく変わらない。同じキャンペーンを前年同時期にやっている場合は、状況もほとんど変わらないので、景気動向はあまり変わっていない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き		・地域経済の低迷に伴い、車両販売もそれに比例し下向き傾向にある。対応策がなかなか見つからないのが現状である。
乗用車販売店（経営者）		販売量の動き		・3月決算の反動で悪い4月よりもやや上向いてはいるものの、景気の上向き感が感じられない。	
乗用車販売店（販売担当）		来客数の動き		・今月に入り、ミニ展示会やダイレクトメールで輸入車、国産車の新車案内をしているが、購入目的の来客がほとんどなく、販売がかなり落ち込んでいる。一方、車検や整備関係は横ばいで推移している。	

自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・客が修理や車両販売の際、値段についていろいろ言うようになってきている。工場やスーパーの客からは、活気がなく忙しくないという話を聞いている。	
住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・一時落ち着いていた単価下落がまた始まっている。消費者の節約志向の高まりに対応したもので、客単価の上昇傾向は止まってしまっている。	
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・原材料費は上がっているが、客からの予算は変わっていない。	
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今月も引き続き景気は良い。冬は暖冬で客がそこそこ多く、春も大河ドラマ効果でやや良いので、景気動向としては横ばいということになる。	
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・企業の出張宿泊需要等については、3か月前と比較して、大きく減退する傾向もないが、上がっている様子もなく、変わらない。	
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・インバウンド予約が相変わらず好調な反面、前年と比べ、今年は国内のスポーツ関係の団体予約が少ないように感じる。	
旅行代理店（所長）	来客数の動き	・ゴールデンウィークについては、休日の日並びもあり、期待したほどではなかった。休前日でも予約状況は厳しい。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人客の伸びがない。	
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量に顕著な伸びがみられない。	
タクシー運転手	単価の動き	・運行回数も減少し、単価も低下している。夜の動きも悪い。	
タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初より夜の動きが悪く、前年同月比で3%減少している。	
タクシー（役員）	お客様の様子	・乗務員に客の様子を聞いたところ、景気の良い話がない。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・世間ではあまり良い話題がなく、節約志向も強くなってきているため、客の反応は鈍い。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・原油安による株価下落等もあり、依然として実質賃金が上がらないため、あまり消費意欲は高まっていない。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・最大10連休のゴールデンウィークも後半は動きが鈍く、期待通りにはなっていない。	
ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・来場者の予約数は前年並みとなっている。	
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	販売量の動き	・来客数、単価共に依然として横ばいである。各テナントの予約数もほぼ横ばいで変わらない。また、競争相手のキャンペーンやイベント等についても、横ばいの状況が続いているため、当社も同じく横ばいということである。	
その他サービス [イベント企画]（職員）	お客様の様子	・スポーツイベントのエントリー状況など考慮すると、若干停滞気味である。	
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新規計画の依頼は少なく、仕事量が少ない状況が続いている。	
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・連休中の入込客が少なかった。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは中心商店街で祭りがあり、多少人出があったが、終わればぱったり来ない。中心商店街の客層はシニアが多く、流行にも季節感にも鈍いので、訴え方が難しい。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・小学校のキャンプ用品のあっせんを行なっているが、来客数が減少しているのと同時に、物を買わなくなっている。また、注文が安物に偏ってきている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年同時期と比較し、今年は追加注文等が少なく、やはり相対的に客が買い控えをしていると感じる。
	一般小売店 [衣料]（経営者）	来客数の動き	・季節は良くなってきたが、客は少ない。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・3か月前に比べ、客の様子が慎重になっている。価格をしっかりと見比べたり、量の多さ、少なさを丹念に見ている。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・婦人を中心にアパレル全般が依然として不調である。バーゲンなど価格訴求に対する客の反応は良いが、不要不急品の購買を控える傾向は変わらない。

百貨店（副店長）	来客数の動き	・5月に入り、来客数は前年比で5%減、特に土日の来客数が大幅に減少している。カード優待会等に対しても客の反応が今まで以上に鈍く、電話や手紙で来店を促しているが、なかなか足を運んでもらえない。物産展だけは堅調だが、それ以外の商品は婦人服を中心に厳しい状況が続いており、これまでけん引役であった化粧品ですら伸びが鈍化している。
スーパー（統括）	お客様の様子	・前年2月以降16か月連続で、1人当たり買上点数、客単価がわずかずつ悪化しており、衝動買いや無駄な買物を避けるために女性客までメモを持ち始める等、買物が更に慎重になってきている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・5月初めに大手企業の事務所が移転し、店周辺の職業人口が減少したので、来客数も減少している。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく人が出て来ない。来店する客もかなり買い渋っている状況で、客単価も相当低下している。背景にはいろいろな社会情勢があると思うが、それにしても財布のひもがかなり固く、何とも言えない状況である。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中の来客数は前年を割り、全体的に商品単価は上がっているものの、販売数量は伸びていない。金額比で前年を上回った商品は、耐久消費財の冷蔵庫や洗濯機などで、他の小型家電については前年を割っている。トータルでは前年を若干上回っている。
家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・企業の購入に関して、無駄な買物が減少している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相変わらず新車はあまり売れていない。最近では発注から納車まで従来の2～3倍時間がかかる。トラックやバスなどは、ちょっと架装すると6か月～1年かかってしまう。客には迷惑をかけるし、お金の循環にも問題が出てくるのではと心配である。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・軽自動車は今まで好調に売れていたが、新車価格は小型普通車とあまり変わらないうえ、自動車税も高くなっている。さらに、大手自動車メーカーの燃費不正問題もあり、軽自動車の販売が落ち込んでいる。
住関連専門店（経営者）	それ以外	・商品の1品単価は上昇傾向にあるが、客単価はほぼ前年並みである。原材料費の上昇による原価上昇、売価への転嫁によって1品単価は上昇したが、一般の消費者支出は横ばいとなっている。景気の停滞感を感じる。
その他専門店【燃料】（従業員）	販売量の動き	・販売量は毎月減少しており、前年比でも減少している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月間、夜の来客数が激減している。それと共に客単価も下がっているため、非常に良くない。
スナック（経営者）	お客様の様子	・5月の連休でのお金の使い方もあるかと思うが、とにかく良くなる要素が一つもない。政治の世界もぐらついているので、ますます景気が悪くなるのではないかと。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年は、地元名刹の御開帳や金沢までの北陸新幹線延伸があり、非常に活気があったが、今年は当地区で大きな行事やイベントが何もないので、たいぶ落ち込んでいる。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・客の動きが鈍かったが、ここにきて鈍いどころでなく止まっている。熊本地震の影響もあるが、九州方面はぴたりと止まっている。為替変動の影響もあり、企業側の収益減と今後の先行き不安からくるものだと思う。前年同時期と比較して、受注も6割程度となっている。
通信会社（店長）	それ以外	・買換え需要は例年並みだが、業者からの手数料が減少している。
競輪場（職員）	お客様の様子	・記念競輪の売上、来場者数共になかなか目標に達しない。
美容室（経営者）	お客様の様子	・今月は自動車税の納税等で出費が多くなる時期であり、客は生活を切り詰めているので、前月比で来客数は増加していない。生活費を切り詰めている人が多くなっている。
その他サービス【自動車整備業】（経営者）	単価の動き	・来客数に変動は見られないが、整備箇所の後回し傾向が顕著になっている。かなり財布を意識し我慢しているようである。

		設計事務所（所長）	来客数の動き	・我々の職業は販売イコール収入ではないので、景気判断は建築投資への情報量ということになる。そうした意味で、先月に続いて一向に増える兆しが見えない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税の再延期の情報が行き交い、買い控えが始まっている。状況を見ている客が増えているため、販売量の伸びが鈍くなっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の春のイベントを屋外で開催したところ、例年になりにぎわいがあり、会場の売上は前年の3倍以上あったが、店の売上は前年を大きく下回った。最近特に感じるが、商店街には人の流れはほとんどない状態である。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題により、主力である軽自動車販売の停止と消費者からの信頼失墜により、販売は大幅に減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・地方の観光資源が何もない所では他所から人が来ず、利用客がない。また、5月はゴールデンウィークでお金を使ったせいか、飲み屋も閑古鳥が鳴いており、利用客が減少している。週末も関係なく暇で、売上は最低を記録している。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・依然として地方の景気低迷は続いている。販売の中心となる商店や事業所からの受注は皆無であり、非常に厳しい状態である。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車完成メーカーの輸出量が増加している。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電事業は順調だが、既存の環境装置の販売は前年度決算後6か月減少している。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク以降に店舗の販促イベントが増え、5月の週末ごとにチラシを活用して、集客に力を入れている。例年、ゴールデンウィーク明けは販促が減少するが、前年あたりから、ゴールデンウィークの集客がレジャーに取られているため、そこをはずす傾向にある。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に増加傾向にある。一時的かどうか、推移を見てもいまい。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・前半のゴールデンウィークでは、平年より来場者数の減少が見られたが、後半はやや盛り返して平年並みに落ち着いている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当分厳しい状況が続くそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は連休があったせいもあるが、今年に入って一番売上が悪い。6月は多少上向くかもしれないが、悪い状況は続いており、受注が全然伸びない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造機械の受注が増えているが、単発である。全体的には仕事の確保はできている。カメラ業界は厳しい状況が続いている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・比較的好調であるが、5月は連休も多く、取引先等も連休の関係で仕事量を減らしているため、若干落ちている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・熊本地震により、九州方面の物量は多少減少したところもあったが、大型連休等によるバーベキュー等のレジャー用品、連日の真夏日の影響でエアコン、扇風機等の夏物商材も早めに荷動きがあり、例年並みの輸送量を確保している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は先行きに対する不透明感が高まっており、設備投資の当初計画も慎重になっている。非製造業は地元古社の式年祭などのイベントや大河ドラマの効果も継続している。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光地のホテル、旅館等の宿泊施設は、外国人旅行者の増加により、5月の売上が軒並み前年比2割増となっているようだが、小売、飲食業に関してはほぼ前年並みである。

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比87.3%と大きく落ち込んでいる。日刊紙の広告も、自動車関連が急激に減っていると聞いている。また、百貨店では衣料品の売行きが鈍いようである。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・中小企業の売上など例年並みであり、大きな変化はない。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・ここどころ少し明るさを取り戻しつつあるような気がしている。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・アルバイトやパートがなかなか集まらない話はよく聞くものの、景気が良い話は聞かない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・同業者の中に週休3日にするところも出てきて、そのペースでも供給が間に合うくらいに落ち込んでいる。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭商品の売行き、特注品受注状況共に悪化している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で大きく落ち込んだ自動車関連の仕事が、以前の水準にはなかなか戻って来ない。他の分野の仕事も、受注が落ち込んでいる。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度初めということを加味しても仕事量が少なすぎる。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今年度より受託業務が減少したため、全体の業務が減少し、その分を埋める新規業務やスポット業務の受託もない。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・主要取引先の新年度4月からの生産量が芳しくなく、当社で生産をしていた主力製品の送受話機組立が引き上げられてしまっている。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月末に行われた小売の展示会の売上は、前年比25%減でとどまったが、来場者は50%減で、ユーザーの宝飾離れを感じる。卸の出張販売も大きく落ち込み、業況はますます厳しくなっている。	
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事中心で売上の95%を占める建設業である。新年度になった今期は前期の75%の発注額で、厳しいスタートとなっている。特に、市町村発注額が前年度の55%で大変厳しい。今後は経済政策のもと公共工事の前倒し発注が打ち出されているので、期待したい。前期の発注物件を作業中なので、何とか食いつないでいる状況である。	
雇用関連 (北関東)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ゴールデンウィークは海外、国内旅行に行く人が多く、食品や衣料などの購買意欲が目立つ。住宅関連の増改築は、改修を中心としたものが目立ち、製造業については機械、これから農繁期もあるので農機具、自動車の募集傾向がかなり多い。サービス業では、依然として介護職、保健師、保育士、清掃作業等の募集傾向が多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規大卒求人が前年より増加している。
変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・取引先の宿泊施設の稼働率は前年同様で、あまり変動はない。これからオンシーズンになると、観光型リゾートホテルなどは例年同様に稼働率が上昇してくる。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・ペースアップがなく賞与支給も難しい企業もある。当然社員のモチベーションも上がらないので、売上が上がり、悪循環である。	
	求人情報誌制作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告掲載件数は、前年同月比40%ほど減少している。求人企業は多くあるが、募集広告を数回出しても採用ができない場合は、次から掲載料を払ってまで募集する企業は少ない。紙面には常時人手不足の業種がいつでも掲載されている状況である。	
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・企業ガイダンスなど参加企業は、前年に比べ増える傾向にあるが、企業の景気が改善していることとはつながらない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・派遣先企業の工場が閉鎖され、拠点も縮小されている。	
	人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・求人に対して求職者の数が少なすぎる。オーダーがあっても、同業他社も含めどこも人選できずに、人選期日が延長になることもしばしばある。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 管内の求人倍率は1.48と高くなっているが、年度切替えによって求人数が落ちてきている。景気としては例年よりも若干良いが、就職者数も3月末の就職件数がピークとなっており、前年8月から1.5を超えていたが若干下がって1.48となっている。管内では飲食店、サービス業が主となるが、前年御開帳等イベントの影響があった宿泊業やバス、タクシー等の運送業での求人数減少が見られる。
悪くなっている	-	-	-